

掛川市図書館協議会議事録（案）

会議名	令和2年度第4回図書館協議会		
場所	掛川市立中央図書館 会議室B		
開催日時	令和3年3月12日(金) 午後1時30分から午後3時		
出席者	会長 会長代理 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員	鴻野元希 福住久美子 田中克美 鈴木由加里 浅井稔子 戸塚ひろみ 岡田昇 石川靖 荒木伊久美	館長 副館長 主幹 中央図書係長 大須賀図書係長 赤堀賢司 後藤晶子 名倉宏昭 栗田和道 澤島由基乃

（開会）

主幹

時間となりましたので、ただ今から第4回図書館協議会を開催いたします。

委員の皆様におかれましてはご多用のところ当協議会へ出席いただきありがとうございます。

本日は、長時間の密をさけるため、会議時間は1時間程度とさせていただきます。ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

なお、本日の座席のレイアウトは3密を避けるための配置になっております。会場を広く利用してございまして、マイクを利用した進行となります。

マスクをした状態ではマイクを利用すると聞きにくい場合があります。したがって、マイクを利用する場合はマスクを外すことをご了承ください。

なお、本日松下委員様より、欠席の連絡をいただいております。

それでは、次第により鴻野会長からご挨拶をお願いいたします。

（会長挨拶）

会長

改めまして、おはようございます。

本年度最後の図書館協議会になります。お忙しい中を委員の皆様にはお集まりいただき誠にありがとうございます。新型コロナにより協議会が開けない状況もありました。

後でお知らせしますが、一つ嬉しいことがありました。去年の9月頃に図書館のヘビーユーザーである小川雅子さんが「ライラックのワンピース」が第9回ポプラズッコケ文学新人賞大賞受賞作を受賞し、同じくハードユーザーと言うのでしょうか、落合美織（みおり）さんが青少年読書感想文全国コンクールで文部科学大臣賞を受賞されました。これは、掛川市立図書館にとっても非常に良い成果ではないかと思っております。

後ほども触れますが、コロナ禍の中にあっても入館者数や貸出冊数に影響がないよう図書館では、頑張ってくれています。

短時間ではありますが、貴重な時間を今後の図書館運営に活かせるようご協議願います。

主幹

ありがとうございました。

続いて、図書館長の赤堀よりご挨拶申し上げます。

館長

改めまして、こんにちは。

皆様には年度末でご多用のところ、図書館協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃図書館にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルスに翻弄された年度でありました。当初はどの程度のリスク

があるものなのかもはっきりしませんでした。学校は臨時休校、図書館も台風以外では初の臨時休館とするなど今となっては過剰な反応だったのかなとも思いますが、リスクが明確でなかった段階ではやむを得なかったのかなとも思います。

現在は対応方針も定まり、3館それぞれに非接触型体温測定装置を設置し各イベントについては3密を避けて行うなど落ち着いた状況となっております。1日も早くこの状況が改善され、通常の図書館運営に戻れることを願っております。

また、次期の協議会委員ついてであります、皆様の任期が本年度末となっているなか再任の内諾をいただいたとのことで伺っております。誠にありがとうございます。

なお、私事ではありますが本年度末をもって定年退職を迎えることとなりました。皆様には本当に御協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

本日は久しぶりの会議で多くの協議事項、報告事項がありますが、委員の皆様には積極的に御意見をいただきますようお願いいたします。ありがとうございました。

主幹

4の協議事項に移らせていただきます。

ここからの進行は、掛川市図書館条例施行規則第18条の規定によりまして鴻野会長にお願いいたします。

会長

よろしく申し上げます。

最初に、新型コロナウイルス感染症対策にかかる図書館の対応方針修正（案）について図書館から説明願います。

主幹

資料1をご覧ください。

資料右上に第20版とありますが、第19版は6月18日付けでありまして、今回令和3年度に向けて修正された箇所について説明させていただきます。変更点は資料の中で太字に下線が付けられている箇所になりますが、図書館の利用制限等についてです。

第2項目の引き続き実施する利用制限の（4）ですが、放送大学再視聴室については12月1日より予約すれば利用可能となっております。

第3項目の対応措置については、館内掲示・ホームページ・ツイッター等で2月17日より周知しております。

下段、施設管理のAI体温測定顔認証端末ですが、3館共に閲覧室の入口付近に設置しました。資料2で詳細を説明します。

また、閲覧室の換気対策で換気の回数を1日1回から午前11時と午後3時の2回としました。続いて、資料2でございます。

先程の説明の詳細ですが、4番①のとおり非接触式温度測定装置のため本体画面に顔をかざすことで瞬時に体温測定ができ、マスク着用の有無も判別できるためかなり高性能なものです。これは、1の目的のとおり新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため発熱者の入場を制限しますが、あくまでも利用者の皆さんが安心できる空間をつくるためのもののご理解ください。説明は以上です。

会長

事務局の説明は終わりました。このことについて、ご質問はあるでしょうか。

質問なし。

会長

よろしいですか。では、次をお願いします。

主幹

本年度の事業報告から令和3年度の経営方針、事業計画（案）まで、関連性がございますので一括で説明します。

最初に資料（3）をご覧ください。主な事業のみを報告します。共同事業のこんにちはえほん、こんにちはえほんもつとは31回ずつ約1,400人強の参加がありました。定例行事の「えほんのへや」等は、3館それぞれの合計が103回となり、保護者を含めて676人の参加がありました。企画行事の図書館フェスティバルは、10月27日から11月7日まで多種の講座やイベントを行い合計3,967人の参加がありました。次のページになります。大須賀館の9月19日からのハロウィン図書館と10月17日からの図書館活動グループ主催イベント等については入館者数しか換算されないため空欄となっております。総合計では4,000人を超える人数となります。ところど

ころにコロナ感染症対策のため中止と記載があります。特に年度初めのものをごさいますて、その後は事業実施に向け特に講座関係では人数を縮小して開催をいたしました。

次に資料4をご覧ください。

1 目指す姿は、記載のとおりですが、例年のとおり、市民誰もが真に充実した人生を過ごすために、必要な知識や情報を得て、暮らしとまちづくりに活かすことのできる教養と文化・情報の拠り所です。

2 主要事業として(1)読者活動の推進は、①図書館講座・各種行事の開催は、古文書講座等の充実で、続いて②秋の読書週間「図書館フェスティバル 2021」から⑤図書館だより、広報、ツイッター等による情報発信とありますが、④子どもの読書活動の推進については、後程の報告事項にあります。本年度に第4次ほんわかプランが策定されることでさまざまな策定内容に努力したいと思います。(2)は市民協働による図書館活動としてです。市民サービス向上のための図書館運営の研究、③市民協働による読書活動の推進ですが、①市民サービス向上のための図書館運営の研究・検討については、レファレンスサービス等の充実を図ります。

(3)図書館資料の充実は、①図書購入から④電子図書館システムの活用となりますが、④電子図書館システムの活用については、図書館システム更新に合わせて電子図書館システムを構築することで図書館利用者が来館することなく書籍の貸出・返却等が行えます。このことについても、報告事項で詳細を報告します。

(4)図書館施設の活用・維持・改善は、①図書館施設の活用から③図書館施設の維持・管理ですが、先程の新型コロナウイルス感染拡大予防のため、A I体温測定顔認証端末の導入によるポストコロナに対応した施設運営を図ります。

3 評価指標案については、人づくり構想かけがわの目標指数に合わせて貸出点数、蔵書点数、利用者人口の拡大について示してあります。

4 主な取り組み事項は、2の主要事業を示したもので黒ぼつの内容は図書館の例年の主要事業となります。

次に資料(5)をご覧ください。主な事業のみ報告します。共同事業のこんにちはえほん、こんにちはえほん+もっと、パパママセミナーは、毎月3回と年間3回を計画します。定例行事の「えほんのへや」等は3館それぞれで月2回程度を計画します。企画行事の図書館フェスティバルは10月下旬から11月上旬まで多種の講座やイベントを行い、大須賀館の10月のハロウインの図書館等コロナ感染症対策を考慮して事業の充実を図りたいと思います。説明は以上です。

会長

ありがとうございました。質問等ございましたらお願いします。コロナ禍の中ではありますが事業報告からいかがでしょうか。

大雑把でいいのですが、実施率といったものは分かりますか。例年に比べコロナにより事業の中身が縮小したとか8割がたはできたよとかですが、いかがでしょうか。

主幹

前期につきましては、コロナによりイベント等は中止になりました。毎月3館調整会議というものがありますが、その中でもできることをやろうということで、講座等をできるだけ開催できるように調整しました。

先ほど館長からありましたが、コロナの影響がどの程度続くのか分からないなかで、A I体温測定機器を使用し始めたことで、利用者の皆さんが館内を安心して過ごしていただけるようになればと考えております。

館長

あくまで達観となりますが、4月から6月は特にイベントの中止がありました。その後は、3密に気を付けながら実施しています。このような状況で参加を取りやめする方もいらっしゃると思いますので、人数は半分を切っていると思います。イベントの開催率は概ね7割程度かと思われます。

なお、大きなイベントは参加型ではなく展示を中心としたものになっているため、事業規模は半分になっていると思われます。

会長

それ以外にありますか。よろしいでしょうか。

次は計画案ですが、今年度を踏まえたものとなると難しい点もあるでしょうが、質問や要望等いかがですか。

委員

1つ質問があります。リクエストの変更について図書館HPに掲載されています。限られた予算の中で当然ではありますが、変更された背景等は何かあるのでしょうか。

もう一つは提案ですが、大東、大須賀図書館に行くと大坂地区で絵を描いている橋爪さんとい

う方の作品展を生涯学習センターで行うというハガキが置いてありました。橋爪さんは大東図書館の蠟人形の時に絵を描いた方です。図書館に関係ある方なのを伝えてちょっと見に行くといいよと一言あったら興味を持ってもらい今後の若い方への応援にもなるかと思えます。
以上です。

会長

図書館資料の活用のためにリクエストシステムの変更ということですが、いかがですか。

館長

リクエストの変更を制限したのは予算的な理由もあります。ご存じの通り、新型コロナウイルスにより法人住民税、個人住民税、評価替えの時期か定かではありませんが資産税にも影響が出ています。設備投資に関係する償却資産も同様に影響があります。リーマンショック以上のダメージがあると言われていています。令和3年度予算は例年以上に厳しい状況です。一方で、コロナ対策は行わなければいけません。図書館については図書購入費が減額となっています。それが令和4年度も続くことはないかと財政当局から聞いておりますが、いずれにせよ令和3年度は厳しい予算となっています。その中でリクエストについて変更させていただきました。

2点目については、ご提案ありがとうございます。利用者への周知方法については、各館のできる部分で検討していきたいと思えます。

委員

リクエストについては、言えば何でも買ってもらえるというのはいけないと思えます。了解しました。

副館長

リクエストについて補足させていただきます。今回の変更は、CDのリクエストをお断りさせていただくこと、市外の方からのリクエストをお断りさせていただくという2点です。理由としては、市の財政が厳しいということや近隣市町に確認したところ、CDを掛川市だけ市外の方のリクエストを受け付けていることが判明しました。それにより、リクエストが集中してしまっている状況です。そこで、他市の取り扱いと同じにしました。

また、CDについてはリクエストの受付ではなく、購入時の参考にさせていただくということで意見の受付はさせていただきます。

委員

他市では受けないということでしたので了解しました。

委員

先日テレビで報徳社のことをやっていました。松本亀次郎の実家に鶴峯堂（かくほうどう）というお堂があり、そちらも先日テレビでやっていました。そういった形で取り上げていることもあります。大東図書館では松本亀次郎の展示を常にしています。このような事例を含めて図書館同士の連携はどのように取り扱っていますか。

副館長

鶴峯堂（かくほうどう）の件では、松本亀次郎の日中友好協会代表者の方と連絡を取っています。この会は、郷土ゆかりの部屋ができる時からの繋がりがあり映像作成等に協力いただいています。掛川工業高校、協会、大東図書館の協働で作成しています。

また、鶴峯堂（かくほうどう）の記念碑的なものに大東図書館長の鳥居館長、大東図書館の木佐森主査、私の名前が確認できます。今後も、連絡を取りながら協働しています。

委員

そういった形が大事だと思います。一般の方には中々知られていないので、テレビで取り扱った映像等は図書館にありますか。

副館長

著作権の関係でそういったことは行っていません。NHKの場合、5分で何十万と費用が必要です。松本亀次郎の資料は大東図書館で取り扱っています。年3回程度企画展を行っているのですらららをご確認いただけたらと考えています。

現在は、木佐森主査が事務を行っていますが、今後はデジタルアーカイブについても進めていきます。やはり、郷土の偉人について知ってもらいたいし、特に子供たちに知っていただきたいので、そういった方達からデジタル化の候補になると思えます。

館長

テレビ等で取り扱った内容を録画した場合、個人で楽しむ分には問題ありません。図書館が同様に録画して利用者等に閲覧等に利用するのは著作権法で問題となります。細かく言うと、誰かが録画したものをグループで見ることでも著作権で問題となります。実際にはそこまで問題とすることはないのかもしれませんが厳密には問題となるということをご理解いただきたいと思います。

会長

よろしいでしょうか。他にどうですか。

委員

質問してよろしいでしょうか。利用制限について会議室の利用について数字はなくて3密の回避とありますが、定員の何%とかあるのでしょうか。

会長

具体的にはどの部分でしょうか。

委員

図書館の利用制限という部分です。

主幹

今のご質問ですが、現状は会議室の半分としています。会議室使用申請時に説明しています。また、換気についても依頼しています。

会長

50%ということですね。

委員

ワクチン等により状況が変わることはありますか。

館長

市の対策本部で決定した方針に基づいて細かい部分に対応していきます。

委員

ちなみに今日の会場の会議室Bは何名ですか。

館長

定員100名のため現在は50名が上限ですが、50名なら問題ないのではなく使用状況により判断させていただきます。

会長

全体としては、図書館利用者への周知ということだと半数という表記になるということですね。他にはありますか。

委員

資料3の令和2年度事業報告について、教育振興計画の関係もあるかと思いますが、過去に比べて実績が若干低い形になっています。事業計画で対策がでるのかと考えてはいますが、昨年度も同じくらいの数値をあげています。実現可能性という点や子供の数が減っていることを考えると減らしていくことも必要かなと思いました。

会長

数値目標が毎年必ずプラスにならなければいけないのかということですね。

委員

実績があるのでどうかとは思いますが。

主幹

委員さんのおっしゃる通りです。総合計画、人づくり構想掛川の関係もありますので今のところ令和6年に向けて数値を掲げています。そこでは、図書館の数値は右肩上がりの目標値となっています。その数値をどうするかは今後の総合計画から見直しをしていきます。その後、人づくりも変更していきますので、よろしく願います。

会長

今後間違いない検討していくとのことですか。よろしいですか。

委員

了解しました。

会長

数値は大雑把なものがありますが、今後検討していくということで昨年度の数値を踏襲していくようです。

新しいところだとデジタルアーカイブがあります。これが具体化していくようです。他にはありますか。

コロナ禍で予算が厳しいという事で図書館の予算も削られるという事ですが、だからこそ削られないようにむしろ家にいることが多い現在にこそ読書活動が重要であることを伝えて欲しいと思います。教育にお金を使うことが重要であると、図書館からも声を上げてほしいと思います。

それでは、次をお願いします。

主幹

次に「令和3年2月末までの利用状況」でございます。

資料(6)をご覧ください。

コロナ禍のなかで、4月から6月中旬までは計画していた事業を中止していましたが、6月19日(土)からは、読書室について各机に椅子1つとして開放しています。中央図書館についてのみ傾向をご紹介しますがご覧のとおり、4月5月に比べて6月からは全てに上向き状態ですが入館者数はまだまだ昨年の同時期と比べると約3分の2程度でございますが、貸出利用者数と貸出冊数とBMMは安定してきております。このことは3館について同様の傾向となっております。

今後も、コロナ禍の状況から県内図書館の状況市対策本部や教育委員会の方針により施設を運営してまいります。

説明は以上です。

会長

入館者数、貸出冊数等の数値が出されています。半分から3分の2という事ですがいかがですか。5月は休館により少なかったのですが、その後は来館すると駐車場が一杯の時があります。質問はありませんか。では、次をお願いします。

係長

次に、掛川図書館フェスティバル2020開催報告について説明させていただきます。先程の行事報告にもありましたが例年図書館フェスティバルは講演会等の人が集まる行事を実施していました。しかし、今年度はそういったイベントは実施できないため展示を中心に実施しました。こども図書館フェスティバルも読み聞かせ等の内容から展示中心で行いました。今まではこども図書館フェスティバルは1日だけの開催でしたが、2週間程度の展示で皆さんに見てもらおうようにしました。写真の通り今までのこども図書館フェスティバルを振り返る内容を皆さんに見てもらいました。裏面は3館で行った内容になります。中央館では雑誌の古本市、会議室で歴史関係、図書館利用者の方の展示を行いました。大東館でも同様に展示を行い、大須賀館ではお子さん向けのちょっとした講座や夜のハロウィン図書館を行いました。いずれも3密を防ぎコロナ対策のため規模を縮小して実施しました。今年も同様な形で行う可能性があります。説明は以上です。

会長

ありがとうございます。以上の内容とのことですか。質問はありますか。

私が一番思ったのは3館ともツイッターをやっていて、早くから告知等を行っていました。しかし、フォロワーの数が100位しかなくていいねがあまりつきません。もう少しそこが増えるといいなと思います。では次をお願いします。

主幹

令和3年度図書館カレンダーについて説明します。資料8をご覧ください。例年通り月曜休館です。中央館は国民の祝日に開館します。大東、大須賀は土日の祝日は開館します。中央館は10月の蔵書点検時に合わせて9月28日(火)から図書館システムの更新で休館とさせていただきます。他は例年と同様のカレンダーとなっております。以上です。

会長

例年と同様の内容という事ですね。では次をお願いします。

係長

図書館システムの更新及び電子図書館システムの導入についての説明になります。資料9をご覧ください。カレンダーにもありますが中央館は10月に蔵書点検を行っています。図書館システムは5年に一度更新を行っています。3月1日(月)にプロポーザルを行い静岡日電ビジネスに決定しました。

今回のシステム更新では、電子図書館、デジタルアーカイブが目玉となっています。電子図書館は端末があればいつでもどこでも図書館に来館しなくても貸し借りが出来ます。デジタルアーカイブは小中学校にデジタル端末が設置されることに伴い、それを利用して郷土資料に関する学習に利用できればという目的も含めてデータの蓄積を通じて地元の歴史学習に活用してもらいたいと考えています。

会長

学校でタブレット端末が利用できるようになるとのことですが、デジタルアーカイブが利用できるのは何年後ですか。

館長

電子図書館については、10月からの運用を考えています。デジタルアーカイブはデータの蓄積だけでなくデータ利用のために説明等のタグ付けが必要となります。令和3年度から関係課と方向性や資料作成について協議していきます。令和4年度から使用できるようにしたいと考えています。

会長

是非、頑張ってもらいたいとは思いますが人的配置はどうですか。

館長

資料9にあります。図書館は学校からコンテンツをもらい関係課にデジタル化を依頼します。図書館は著作権等を確認してデータセンターに情報を蓄積します。文化・スポーツ課とは既に話をしており、学校教育課学校図書館支援室とも話を始めています。文化・スポーツ課はそういったデータを活用して欲しいと考えており、学校もデータを活用していきたいと考えていますので、そういった体制となっています。

会長

図書館はここ数年ずっと職員数が少ないと言われていています。デジタルアーカイブについてもここ数年ずっと言っています。具体化は難しいと思いますが、人的配置を含めて対応して欲しいと思います。

館長

小さく始めて大きく育てるという考えです。成功しやすいところから初めて実績をつくりそこから予算、人員配置等を求めていきたいと思っています。

副館長

1点訂正させてください。図書館システムの更新時期ですが、大東、大須賀図書館のカレンダーをご覧ください。9月28日(火)から10月4日(月)までがシステム更新となっています。10月5日(火)から中央図書館の蔵書点検となっています。

館長

カレンダーの件についての訂正です。では次お願いします。

係長

ほんわかプラン「掛川市子ども読書活動推進計画の策定について」説明させていただきます。

現在、第3次計画で第4次計画を作成中です。今回は令和3年度から令和7年度のまでの期間の計画となります。具体的な内容は別紙1から別紙4になります。計画作成のポイントとしては、SDGs(持続可能な開発目標)をもとにしています。具体的には別紙1にある通り、図書館機能に関することやSDGsをもとにしたものになります。イメージは資料にあります。目指すこどもの未来像のために学校、園、家庭、地域が図書館と一体となって健やかなこどもの成長を見守るという事で資料の通りとなっています。実際の施策としては、図書館だけではなく小中学校、高等学校、園、地域、家庭と協力して実施します。

また、協働の取り組みとして書店さん、子育て団体等と協力して読書活動推進を行います。別紙4では体系図のとおり関係各課と連絡調整して実施します。今後はこども読書活動推進会議を

経て教育委員会に諮ります。令和3年3月中に策定予定です。

館長

資料に一部古い部分がありますので補足させていただきます。p2の今後の予定ですが、パブリックコメントを1月に実施しました。2人の個人、1団体から約60件の御意見をいただきました。できるだけ趣旨を理解して反映させていただきますが、考え方の違い等により、こちらの考えはこうなっていますとの回答をさせていただいた箇所もございます。3月16日(火)にこども読書活動推進会議があり、3月26日(金)に定例教育委員会があります。係長の申し上げたとおりうまくいけば今年度内に完成となります。

会長

ほんわかプランについては、こども読書活動推進会議が中心となって進めているとのことですが、既にパブリックコメントが終了しており、基本的な部分はできているようですが、他に何かありますか。では次をお願いします。

係長

資料11になります。第14回かけがわ教育の日について説明させていただきます。例年、掛川生涯学習センターで講演や展示を行ってまいりました。こちら、コロナウイルス対策により3密を避けるため初めてWeb開催となりました。内容は例年通りの部分もありますが、子供さん達が画面上に現れて「こころがほっこりお茶の間トーク」の朗読を行ったりアフターコロナということでのどのような取り組みをしているか、3番目の「やっぱり学校っていいよね」という内容について参加されました。2月17日(水)時点で1,542回の視聴がありました。現在も掛川市のHPで視聴が出来ます。興味のある方は、是非ご覧ください。

会長

報告含めご意見等あればお願いします。

係長

もう1点お伝えします。最近の掛川市立図書館関連の記事を紹介させていただきます。

1つ目は、報徳社にお勤めの小川雅子さんが文学賞新人賞を受賞した記事です。2点目は、城北小学校の落合美織さんが読書感想文で文部科学大臣賞を受賞した記事です。3つ目は、よみきかせ会ひまわりさんが故郷貢献賞を受賞したことです。次ページでは、既に展示は終了していますが、掛川市森林組合さんから3館に本棚が寄贈されました。本棚は掛川産の木材を使用しています。それに伴い森林に関する展示が行われました。次は大須賀図書館で行った行事を取材したものです。ホッチキスで閉じてはいませんが「掛川市こども読書活動を考える会」さんが静岡県地域文化財団より「ふじのくに地域文化活動書奨励賞」を受賞しました。以上です。

委員

すいません。先ほどのパブリックコメントの別紙ですが資料の中にありますか。

館長

申し訳ありません。こちらの資料は他の会議資料の流用となります。既にパブリックコメント実施済のため今回の協議とは関係ありません。よろしくをお願いします。

委員

パブリックコメントの意見を見ることはできますか。

館長

いただいた御意見を現在取りまとめ中です。定例教育委員会で報告の後、回答と一緒に公表させていただきます。

会長

1時間がたちますので、最後に各委員から何かありますか。

石川委員

説明ありがとうございました。小学校は教科学習の増加のため読書時間が減っています。コロナウイルス対策の関係で図書室の使用も制限しています。そして、家庭での読書量も減少しています。その中で授業での活用や本を持つこと、読書、読み聞かせの効果を伝えていかないとますます減少していくことを危惧しています。そういったことに取り組んでいくためにも図書館と繋がる事が大事だと考えます。よろしくをお願いします。

委員

単純なことで申し訳ないのですが、図書館は月曜日が休館日になっています。例えば、月曜は中央館が休館、火曜日は他の館といったことは可能でしょうか。そうすれば中央館が休館でも他の図書館に行くことができます。ブックカフェに行ってもコロナウイルス対策で本を読むことができます。こういった状況の中で図書館全体のお休みが少なくと皆さん利用すると思います。

委員

ほんわかプランの第4次計画ができるのを楽しんでいます。先日御前崎市の第2次計画をいただきました。私は第1次計画に携わっていましたが、学校の部分を見て少しがっかりしました。若干後退しているなど感じました。指導要領は変わっているのにどうなのかと思いました。掛川市の計画が新しい指導要領やデジタルアーカイブといったものがうまく利用できるような形になっているのかと期待しています。

また、高校生の読書は本当に難しい問題なので蔵書のアピールから図書館を利用してもらえるようにしていただきたいと思います。後は、地元の作家を応援するような展示というかアピールをよろしく願います。

委員

私は郷土史を研究していますが、コロナウイルス対策の関係で図書館を利用できない日が続きました。その後利用できるようになって大須賀図書館で色々な資料を拝見しました。そして拝見した資料をパソコンに打ちこんで図書館へ寄贈しました。他にも2023年の大河ドラマ「徳川家康」で横須賀城なんかも注目されていると思います。そういった機会を通じて市民の皆さんに郷土を見直していただきたいと思います。

また、横須賀城の天守閣の資料が最近でできました。当初4階建てと考えられていましたが実は穴蔵があることが分かりました。大東図書館の職員の方にも確認していただき中日新聞に記事が出ました。横須賀城の整備計画が進む中でそういった資料が参考になる事を期待しています。それらを通じて地域の皆さんが本と親しむきっかけになればと思います。そして、図書館や二の丸美術館の価値が改めて見直されていけばいいと思います。長々とすいません。

会長

ありがとうございます。以上です。事務局へお返しします。

主幹

はい、ありがとうございました。

本年度で委員の皆様の任期が終了します。個人ごとに連絡させていただき、全員が来年度以降も委員を引き続き引き受けていただけることになりました。報告とお礼とさせていただきます。

来年度になりましたら、案内を送付させていただきます。

以上を持ちまして、第4回図書館協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

終了。